

エコアクション21 環境経営レポート

(2024年9月1日～2025年8月31日)

性能を追求する校へ



2025年10月22日発行
株式会社 アート1



(第7版)

(改1) 2026年6月1日2025年度以降計画修正 (P3)

(改2) 2026年7月17日電力CO2新基準計算により修正、装丁刷新

目次

1. 組織の概要	P-1
2. 対象範囲	
3. 環境経営方針	P-2
4. (基準年の環境負荷と)環境経営目標	P-3
5. 環境経営計画 P-4	
6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容	P-4
7. 目標及び計画の実績・取組み結果、次年度の目標・計画	
8. 株式会社アート1 エコアクション21実施体制	P-5
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P-6
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	

理念

誠意をもってことにあたり、
技術を軸に社会に貢献する。

株式会社アート1



ご挨拶

当社はアルミニウムおよびマグネシウムの表面処理専門企業です。素材に高い耐食性や耐摩耗性等の機能性を付与する技術により、製品を錆びにくく、製品同士の摩擦による減量を抑制し、寿命を延ばし、資源の節約を図り、日々努力することにより、環境負荷削減に努めております。

当社は今後も表面処理を通して、限りあるアルミニウムやマグネシウムの貴重な資源を節約し、環境問題に社員一丸となって貢献していきます。

イメージキャラクター アートン



1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 アート1

代表取締役 秋本 政弘

(2) 所在地

認証・登録範囲: 本社・第1工場(※) 神奈川県大和市下草柳822-3
第2工場 神奈川県大和市下草柳864-2
第3工場 神奈川県大和市下草柳864-3
(※)第1工場2026年4月稼働

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 井口 博

担当者 井口 博

連絡先 電話 046-264-1311

FAX 046-264-7010

e-mail hinkan@artf.jp

(4) 事業活動の内容

アルミニウムとマグネシウムの陽極酸化処理及び化成処理

(5) 事業の規模

資本金:10,000千円

活動規模	単位	第2工場・第3工場	本社・第1工場
売上高	百万円	非公開	
従業員数	人	32	
延床面積	m ²	930	1322

(2025年8月31日現在)

(注記: 本社・第1工場は2025年11月建築完了、2026年4月稼働予定)

2. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織

本社・第2工場及び第3工場(所在地は1(2)に記載)

(更新時、第1工場追加予定)

(2) 認証・登録対象活動

本社及び第2工場、第3工場で行うなう事業活動

(アルミニウムとマグネシウムの陽極酸化処理及び化成処理)





環境経営方針

基本理念

株式会社 アート 1は、アルミニウムとマグネシウムの陽極酸化処理及び化成処理の生産活動を通じて、社会情勢の変化に対応しながら環境保全への取り組みを重要な課題とし、地球環境の保護、資源の有効活用および環境汚染防止を推進し、環境保全活動の質を継続的に向上させます。

環境経営方針

1. 環境に関わる法令・要求事項を順守します。
2. 事業活動によって生じる環境負荷を認識し、環境汚染の予防に努め、環境マネジメントシステムの継続的改善につなげます。
3. 目標を設定し、CO2排出量・水資源投入量・電力使用量・化学物質使用量・廃棄物排出量の、削減に努めます。
4. 環境方針は、全員に周知するとともに一般に公開します。
5. 環境目標の達成及び環境改善のため、高効率設備等へ経営資源を積極的に投入します。

2024年5月22日

株式会社 アート 1

代表取締役 秋本政弘

4. (基準年の実績と)環境経営目標

環境経営目標

承認	作成
西中一仁	桜庭ルミ

環境目標	単位	基準(実績)	年度目標	次年度目標	中期目標	
		2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	～2029年度
		運用実績	運用期間	計画見直し	事業計画による見直し	
		2023 年9月 ～ 2024 年8月	2024 年9月 ～ 2025 年8月	2025 年9月 ～ 2026 年8月	2026 年9月 ～ 27 年8月	年間
1. 二酸化炭素 排出量の抑制	kg-CO ₂ (※1)	446,358	計画排出量 466,381	新工場稼働 530,000	新工場稼働 534,000	省エネ対策 530,000
	新基準(※2) ton-CO ₂	392	409	468	472	468
1.1電力使用 量の抑制	kWh	712,514	基準年比 106% 755,260	事業計画 891,000	事業計画 900,000	無駄削減 891,000
1.2自動車燃費 の向上	軽油 ℓ	20,082	基準年比 99% 19,881	前年比 維持 19,000	前年比 維持 19,000	前年比 維持 19,000
2. 産業廃棄物 の排出抑制	脱水汚泥、廃ブ ラ、木くず、混合 kg	44,169	基準年比 99% 43,727	基準年比 98% 43,500	基準年比 98.0% 43,500	基準年比 98.0% 43,500
3. 水資源投入 量の削減	m ³	7,382	基準年比 99% 7,288	基準年比89% 6,570	仮計画 7,000	仮計画 7,000
		備考	節水	新工場稼働		
4. 第一種指定 化学物質使用量 の抑制	kg	268	基準年比 105% 281.4	新工場稼働 400	使用抑制 270	使用抑制 270
4. 1六価クロム 使用量の抑制	kg	35.34	基準年比 95% 33.57	受注増対応 50.0	使用抑制 47.5	使用抑制 47.5
5. 環境性能向 上・サービス改 善	—	クロム・ノンクロムの 隔離及び製品の 識別	クロム・ノンクロムの 隔離及び製品の 識別	環境対応設備 と六価クロム処 理工場の分離	環境対応設備への切り替え	

※1:購入電力のCO₂排出係数を0.491/kgとして計算(最新値ではない)

※2:最新基準で算出(電力1:0.000452ton-CO₂/kWh、電力2:0.000415ton-CO₂/kWh)



5. 環境経営計画

6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

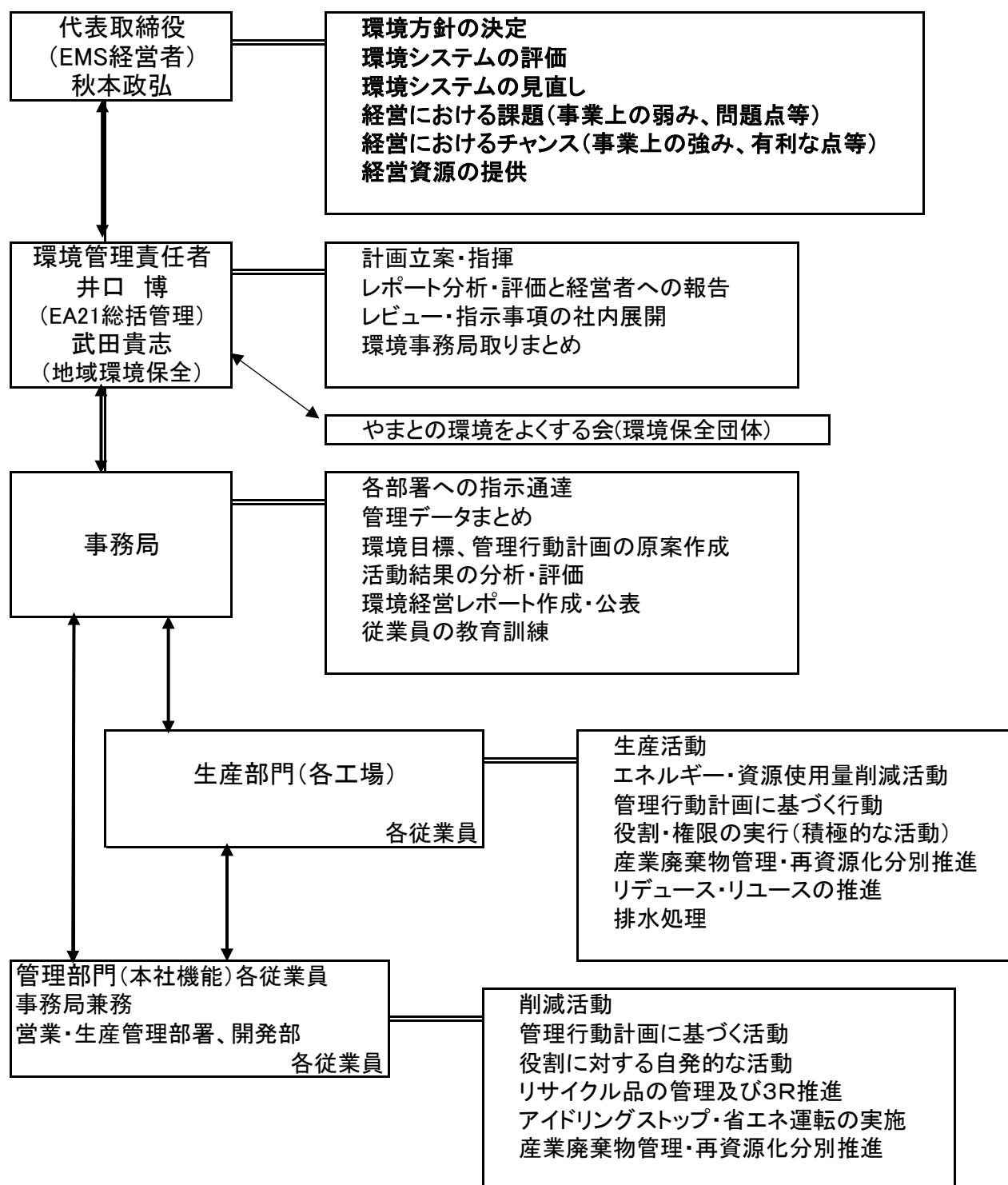
7. 目標及び計画の実績・取組み結果、次年度の目標・計画

環境経営計画	取組結果とその評価 (2024 年9月 ~ 2025 年8月)			
	環境目標	実績	評価	評価、次年度の取組内容
1. CO ₂ 削減 ・設備集約による高効率化	計画排出量	99.7%	○	化石燃料使用量は目標以上に削減新工場はオール電化により化石燃料を削減し、高効率設備により効率向上を目指す。
	466,381 kg-CO ₂	464,964 kg-CO ₂		
①電力使用量の抑制 ・省エネ機器への更新 ・省エネ活動	計画使用量	101.9%	×	増産のため電解電力が急増している。次年度は増産及び新工場稼働の為需要増加見込み。省エネ設備導入によりパフォーマンス向上を図る。
	755,260 kWh	769,284 kWh		
②軽油使用量削減 ・省燃費車への更新 ・エコドライブの徹底	前年比 99%	95.5%	○	エコドライブの徹底により燃費向上。次年度も維持。
	19,881 ℓ	18,995 ℓ		
2. 廃棄物排出量削減 ・リサイクルの推進 ・保護資材の再利用や、返却	基準年比99%	96.0%	○	3Rが徹底出来ている。3R推進により排出量を維持する。
	43,727 kg	41,968 kg		
3. 水使用量削減 ・水利用の効率化	前年比 99%	65.7%	○	用水使用の効率化、排水処理負担の軽減により使用量が削減できている。次年度は新工場による増加が見込まれる。
	7,288 m ³	4,848 m ³		
4. 化学物質使用量削減 ・液ろ過で長寿命化 ・処理計画の工夫 ・設備集約による効率化	前年比 105%	104.9%	○	処理量増加に伴い化学物質の使用量は増加しているが、生産量に対しては抑制出来ている。次年度は設備新設分が増えるが、排水排出量は抑制する。
	281.4 (内、CrVI 35.34) kg	281.2 (内、CrVI 14.35) kg		
5. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	クロム・ノンクロムの隔離及び製品の識別	環境対応設備と六価クロム処理工場の分離	○	クロム・ノンクロムの隔離はできている。次年度、新工場によりクロム・ノンクロムは完全隔離。新工場は環境対応設備。

○:目標達成、×:目標未達

(注)次年度計画は、P3を参照。

8. 株式会社アート1 エコアクション21実施体制



2025年10月22日見直し
環境管理責任者

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される代表的な環境関連法規等の一部は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	水質汚濁防止法該当(水質有害物質使用特定施設) 第1工場、第2工場、第3工場
水質汚濁防止法	水質有害物質使用特定施設
神奈川県生活環境保全条例	本社・第1工場、第2工場、第3工場 (アルマイトその他金属表面処理)
下水道法	第1工場・第2工場場排水施設(除害施設)
大和市下水道条例	本社、第2・第3工場(生活雑排水)
廃棄物処理法	本社・第1工場及び第2工場・第3工場
PRTR法	第1工場及び第2工場・第3工場
フロン排出抑制法	本社・第1工場及び第2工場・第3工場

本社工場の建て替えに伴い、監督官庁の指導下で土壌改良工事を実施し、完了。

当該期間中に、その他の基準超過事案等は無かった。

但し、過去3年間で下水排除基準超過が2件あり、是正済みです。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

(1) 全体評価

電解電力の大きい硬質アルマイトの生産量増加に伴い、電力消費量が増加しているが、生産量に対しては抑制出来ている。化石燃料による消費CO₂は前年度比1.3%減となっている。

水の使用量は大きく減少しており、これは用水の効果的利用と排水処理の改善による効果である。

化学物質使用量は、増産によって増えているが、微増にとどめている。

廃棄物は3Rが徹底出来ていると評価する。

クロム・ノンクロムの隔離は問題なし。

(2) 見直し・指示

2025年に新本社社屋完成し、2026年春より新工場が稼働する。現状把握と新本社工場稼働後のエネルギー使用計画を策定し、新中期計画を策定予定。

2025年度は硬質アルマイト及び六価クロム処理の受注拡大が見込まれており、生産計画を反映した年度計画を総量ベースで再検討し、以下の活動計画を軸に環境経営を推し進める。

1. 排水負荷の低減を図り、水資源および環境負荷を低減する。
 2. 電解及び冷熱機器利用の効率化により、電力量の削減を目指す。
 3. 自動車燃料は、運行計画に合わせて見直し、車両更新の必要性を検討する。
- 以上の事項及び、処理作業の効率化により、二酸化炭素排出総量の抑制を目指す。

以上



エコアクション21認証

- ・対象事業所…本社工場、大和第二工場、大和第三工場
- ・事業活動…アルミニウムとマグネシウムの陽極酸化処理及び化成処理
- ・認証・登録番号…0013131
- ・認証・登録日…2020年8月31日



■ アートンについて

株式会社アート1のイメージキャラクターとして誕生しました。

職 業：㈱アート1の宣伝隊長

表面処理という技術を世の中にもっと知ってもらうため、(株)アート1に突如現れた救世主。主にHPやSNS、展示会などに登場し、広報部隊として当社の技術などをはじめとした様々な表面処理についてPRしていきます。

チャームポイント：つるんとしたおでこ、会社のロゴに似せたターバンっぽいカラフル帽子

性 格：明るく社交的、好奇心旺盛、ポジティブシンキング

誕生日：2月1日



「アートンのアルマイトちゃんねる」もみてね！



▲YouTubeチャンネルはこちら



アートン (Artone)

